

東中だより



No. 13

文責：高橋 泰

楽しかった みんな笑った 輝いた ～東中祭を終えて～

10月24日(金)、25日(土)にスローガン「No.1～今まででサイコーの東中祭をこの534人で～」のもと東中祭を盛大に行いました。一人ひとりのもてる力を結集して、みんなで楽しみを分かち合い築き上げようとの思いのこもったスローガンでした。

パソボラ部や吹奏楽部のステージ発表、作法部とPTAによる天目山茶会など、文化系の部活動が日頃の成果を発表しました。また、各学級が真剣に取り組んだ合唱コンクールや「あなたが主役」による個人のパフォーマンス披露もありました。また、「新聞切り抜き作品コンクール」では、よく工夫された作品もありました。実に盛りだくさん、東中生が日頃から取り組んでいる多方面にわたる文化が集約されたものとなりました。そして、一人ひとりが達成感の味わえる充実した東中祭だったと思います。



金賞は3年3組、2年5組、1年4組 ～合唱コンクール～

みんなが緊張して臨んだ合唱コンクール。合唱に向けた学級の思いを語る代表のメッセージのあと、練習の成果を思いっきり表現しました。心を一つにして指揮者を見つめる真剣なまなざし。どの学級も素晴らしかったと思います。今年は特にスタートの1年生の発表に度肝を抜かれ、2,3年生もプライドをかけて素晴らしい発表をしました。例年に比べてはるかにレベルの高いコンクールになりました。それに聴き入る全校生徒や保護者や地域の方の態度も真剣でした。大変な接戦の末、以下のとおりの結果となりました。



合唱コンクール結果

<3年の部>	金賞	3組「キミのもとへ…」
	銀賞	4組「fight」
<2年の部>	金賞	5組「あなたへ」
	銀賞	4組「旅立ちの時」
<1年の部>	金賞	4組「Change!」
	銀賞	5組「マイバラード」

実行委員長として

米谷沙希巳 (3-5)

今年の東中祭では、実行委員長、司会進行の2つの役をやりました。スローガンの「No.1～今まででサイコーの東中祭をこの534人で～」のように生徒全員が楽しむことができた東中祭だったと思いました。

合唱コンクールでは、1年生から3年生までどのクラスもとてもきれいな歌声で、さらに手拍子を入れてあったり歌の前にクラス全員で言葉を言ったりと、いろんなアレンジが加わっていて、見ている人たちが楽しめる合唱コンクールでした。間に騒

がしくなってしまうがちですが、進行係の1回の指示で静かになり、とてもけじめのある東中祭だったと思います。このけじめのつけ方をしっかりと次へとつなげていけたらいいなと思います。

そして、3年生はもう卒業となります。しっかりと卒業式でもカッコいい姿を見せられたらと思います。

委員長を経験できる最後の機会にやらせていただいたことは本当に良かったです。ありがとうございました。

～新聞切り抜き作品コンクール～

本校では、全校生徒が、総合的な学習の時間に新聞切り抜き作品を作成します。今年で、この取り組みも6年目を迎えました。作品を見ていると、時代に即して今の東中生が何に関心をもってどのような考えをしているのかよく見えてきます。今年は自分の意見を述べるだけでなく、時間をかけてレイアウトされた優れた作品がたくさんありました。そんな中、今年の入賞作品は下記のとおりです。この中から中日新聞社主催のコンクールでの入賞作品が誕生すると良いですね。

新聞切り抜き作品コンクールの結果

- 最優秀賞 藤田清美・〇〇〇〇 (3-5) 「命 ～救える命 支えあう命～」
 優秀賞 金澤 星奈 (1-1) 「命をむだにしないで」
 園田 愛美 (1-4) 「感染列島～ウィルスは国境を越えてくる～」
 伊藤千冬、大江実南、深谷歩美 (2-1) 「BAD～日本の『食』に危機!?～」
 榎本 花音 (2-2) 「世界各国 絶えない戦争～どうなる!?日本の未来」
 甘利優奈、金原早紀、山口明日香 (3-3) 「語り継げ！JAPAN WARS」
 岡部 実波 (3-5) 「命の源 source of life ～食について～」



陸上部 多くの種目で上位入賞 ～陸上秋季市民戦（新人戦）～

10月26日(日) 東中祭明けで少し疲れが残る中、陸上の新人戦が行われました。開会式前、少し雨が降り天候が心配されましたが、無事全種目行うことができました。男子3000m、走り高跳びで優勝、女子200mと100mHで2位に入賞しました。多くの生徒が日頃の練習の成果を発揮できました。主な結果は右のとおりです。



主な結果

- | | | |
|--------------|----|------------|
| 男子 3000m | 優勝 | 安藤千力 (3-5) |
| 男子 1500m | 優勝 | 安藤千力 (3-5) |
| 男子 走高跳 | 優勝 | 伊藤 空 (2-1) |
| 女子 100mH | 2位 | 榎原咲絵 (1-5) |
| | 3位 | 榎本花音 (2-2) |
| 女子 100m | 3位 | 榎原咲絵 (1-5) |
| 女子 200m | 2位 | 高橋琴音(2-4) |
| 女子 800m | 3位 | 〇〇〇〇(2-) |
| 女子 走幅跳 | 3位 | 鈴木美彩穂(1-1) |
| 女子 砲丸投 | 3位 | 安藤ひかる(3-2) |
| 男子 ジャベリックスロー | 3位 | 塚田 涼(1-2) |